

1面からのつづき

宮城県支部

大盛況！ 恒例の祝賀会

令和元年度の春季・特別善行表彰(青少年、国際貢献、金銀章)、と秋季善行表彰(成人)、それに秋篠宮皇嗣殿下の長寿善行者御接見に参加された方々、更に、会員と来賓にも案内、総勢六十名の出席者により、去る令和元年十二月七日(土)、仙台市内のホテルにおいて開催した。開催前に出席者全員で記念写真を撮

佐賀県唐津支部

秋季善行表彰伝達式の開催

令和二年一月二十四日(金)に、秋季善行表彰者の伝達式を挙行いたしました。

ご来賓の峰達郎唐津市長、田中秀和唐津市議会議長、栗原宜康唐津市教育長、東島千尋唐津市教育部長のご臨席を賜り、それぞれにご祝辞を頂戴いたしました。受賞者一同も大変に感激し、また、



影、その後、飯田支部長の挨拶があり、続いて、榮譽を賜った方々一人ひとりの紹介があり、本部の表彰式に欠席された受賞者に対しては支部長から表彰状を伝達した。当支部の顧問である中沢幸男宮城県議會議員か



会員一同も心からの感謝をいたしました。ご来賓の言葉の、善行会のような地道な活動が、まちづくりに大いに貢献されているとの評価に、有難く喜びを感じました。伝達式の後には恒例の新年親睦会を行い、一人ひとりが日頃の活動内容や抱負を紹介して、多岐にわたる善行会・会員の貢献が相互理解に結び付き、有意義な伝達式・新年親睦会になりました。



ら祝辞をいただき、西沢啓文仙台市議會議員からは、乾杯の音頭をいただき、祝賀会に入った。

また、日本善行会勝野会長と村井宮城県知事からの祝電が紹介された後、受賞者等からこれまでの活動と抱負を述べていただいた。

参加者一同から今後の活動の参考と期待されるものがあるとの声寄せられた。更に、吉田瑞生多賀城市議會議員がかけつけていただき、一緒に祝賀会

大阪府吹田市支部

設立十周年を迎え 記念式典・祝賀会を開催

令和元年十二月十六日(月)午後七時より、ホテル阪急エキスポパーク二階「月光」において、

に参加された。余興では、会員自慢の歌あり、踊りあり、手品ありと時間の経つのを忘れ、大いに盛り上がり、あつという間に終了の時間となった。出席者からは、大変楽しく仲間と親睦を深め合うことができ、有意義なひと時だった。これを機会に善行会の輪を広げて行きたいとの声寄せられ、大盛況に祝賀会は閉会した。

支部設立十周年記念式典及び秋季善行表彰伝達授与式と祝賀会を開催しました。当日は、後藤圭二吹田市長(本支部顧問)、吉瀬武司吹田市議會議長をはじめ多数の御来賓、また、大阪府支部からも石橋・村上両副支部長が御祝に駆けつけていただき、総勢四十二名が集い、盛大に記念事業を執り行いました。物故者への黙とうを捧げ、令和元年度秋季善行表彰の伝達授与を行い、続いて記念式典では永田支部長から十年をふりかえる挨拶、後藤市長、吉瀬市議會議長から御祝辞を頂戴し、御来賓の紹介、祝電披露を行いました。



クターで十年をふりかえる写真を映し出すと、懐かしい顔に思わず声が出るなど、終始和やかな雰囲気です。思い出話やエピソード、受賞者からの一言が語られて、盛況のうちに幕を閉じました。まだまだ拙い支部ですが、日本善行会の発展のために微力ではありますが努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

新会員名簿(敬称略)

- (北見地区支部) 井田佳子、水津肇、鈴木喜代子、馬場愛子、廣川典子、村川隆、伊藤妙、森谷幸弘(遠紋地区支部) 大河原栄悦、熊谷憲子、鳥井啓一(弘前支部) 對馬健一(岩手県南支部) 伊藤公雄(宮城県支部) 荒井みづ子、板橋肇子、内海運雄、浦山郁夫、佐々木琴世、諏訪ナオミ、千葉均、平山一子、三浦しん、三浦政章、吉村喜代子、渡辺香、(仙台支部) 樋渡良記、松戸信博、瀬戸勲、早坂けさを、黒沢澄子、伊藤照子(福島県支部) きんしょう塾代表金内啓四郎、宗形令子、表郷ポランティアネットワーク、佐藤寅五郎、遠藤昌典、大寺正晃、熊田公位、倉元久美子、人形劇ポロポロ、濱尾和子、傳お麗(宇都宮支部) 我妻勝次、渥見文子、荒川里子、生田弘美、小野口順久、富田成子、廣瀬隆人、藤田カツノ(高崎支部) 堀越明美、恩幣敏夫、田口恵一、飯野勇三、田中島英雄、深町敏郎、福本秀國、時田慶子(前橋支部) 石原保幸、佐久間和子、清水伸樹、田部井光男、廣瀬邦男、堀江真由美(千葉県支部) 宇佐美進(杉並区) 里見秀和(渋谷区支部) 大谷勝久、小笠原直人、津久井幸子、渡辺敦(板橋支部) 阿部一夫、高山真吾、中原賢司(葛飾支部) 大島克裕、長崎高子(調布市) 古山和男(西東京支部) 尾張裕之、小谷光春、福島剛、丸山浩一、下田秀夫(魚沼支部) 島田雅士(愛知県支部) 柴田達美、林洋子、(愛知県豊橋支部) 浅倉

善行川柳

○よき令和 無事息災を 神頼み

北海道 齊藤 勉

評/新型コロナウィルス旋風は、いつになれば止むのでしょうか。無事息災を神頼みする思いですね。《よき令和》は、やっぱり東京オリンピック、パラリンピックに象徴されますね。

○パラリンピック 心と心が とけあつて

宮城県 阿部 澄江

評/どこに障がいをお待ちなのか、競い合う映像は 観る人の心をついてくれますね。

○善行も 御天道様は きつと観てる

東京都 神鳥谷知己

評/《きつと観てる》が字余りですね。御天道様と言う時は、《観てござる》かな。古めかしい言い方だけどもね。《善行は 太陽がいつも 観ています》ではどうでしょうか。

○贈りたる 明るいニュースが 友を呼ぶ

大分県 佐藤 満洋

評/《贈られた 明るいニュースが 友を呼ぶ》

入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の普及と実践を通じ、明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

- 会員の種類
①普通会員(正会員)
個人 年額 五千元
法人 年額 一万元
②特別会員(正会員)
個人 年額 一万元
法人 年額 三万円
③賛助会員
個人 年額 千円以上
※明るいニュース年間購読料五百円含む